

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
船橋情報ビジネス専門学校	昭和56年9月22日	鳥居高之	〒273-0005 船橋市本町7丁目12番16号 (電話) 047-425-1051			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人三橋学園	昭和41年9月21日	鳥居 勝一	〒273-0005 船橋市本町7丁目12番16号 (電話) 047-425-1051			
目 的	情報システム構築に必要な技術の習得、社会人として必要な能力の養成、企業に役立つ人材の育成。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	情報処理科	2年 (昼)	2128単位時間 (又は単位)	平成7年文部大臣 告示第7号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	665単位時間 (又は単位)	1463単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
140人	162人	4人	2人	6人		
学期制度	■前期：4月1日から9月30日 ■後期：10月1日から3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無 ■成績評価の基準・方法について 定期試験の点数と平常点	
長期休み	■学年始め：4月1日から4月10日 ■夏 季：8月1日から8月31日 ■冬 季：12月20日から1月7日 ■学 年 末：3月20日から3月31日			卒業・進級条件	履修した全科目の合格 欠席時間数が規定の欠席日換算で 55日を超えないこと。	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無 ■長期欠席者への指導等の対応 状況に応じ担任、校長と父兄面接			課外活動	■課外活動の種類 運動部6、文化部2、清掃活動 ■サークル活動 (有) 無	
主な就職先	■主な就職先、業界 情報サービス業、コンピュータ販売 ■就職率※1 97.5% ■卒業者に占める就職者の割合※2 95.1% ■その他 (任意) (平成26年度卒業者に関する平成27年4月時点の情報)			主な資格・検定	経済産業省認定基本情報技術者 試験、文部科学省後援情報検定、 オラクルマスター	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 4名 ■中退率 2.5%</p> <p>平成 26年 4月 1日在学者 161名（平成 26年4月入学者を含む） 平成 27年 3月 31日在学者 157名（平成 27年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的に学費が負担できない。進路の変更。勉学に対する意欲の喪失。</p> <p>■中退防止のための取組 クラス担任制による日常の密なコンタクトと生活指導を実施する。状況に応じて（例えば欠席日数等）担任、校長と父兄面接を行う。</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.chiba-fjb.ac.jp</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

IT 業界の動向や人材ニーズを、IT 企業、システム利用者、地域 IT 業界団体から成る教育課程編成委員会から直接情報を得て把握する。あわせて卒業生の就職先企業からの要望のアンケートも参考とする。また学校の自己評価および学校関係者評価、ならびに全生徒に対し学期末ごとに実施される授業理解度調査からも教育課程への課題を得る。これらを総合してより実践的に情報システム構築を行うシステムエンジニア、プログラマの育成をめざす教育課程の編成を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 26 年 9 月 1 日現在

名 前	所 属
武次靖雄	公益社団法人千葉県情報サービス産業協会、副会長
水上明美	株式会社 ベイキューブシー 代表取締役
西村由美	船橋商工会議所、専務理事
増淵賢一郎	アドビシステムズ株式会社、部長
岡川博一	株式会社ブリング、取締役
藤井洋一	日本ナレッジ株式会社 代表取締役
鶴巻祐士	船橋グランドホテル株式会社、支配人
山崎健太郎	株式会社 my ふなばし、代表取締役
鳥居高之	船橋情報ビジネス専門学校 校長
杉山 剛	船橋情報ビジネス専門学校 教務部長
森田秀明	船橋情報ビジネス専門学校 IT 系学科統括部長

(開催日時)

第 1 回 平成 27 年 10 月 26 日 13:00~15:00

第 2 回 平成 27 年 12 月実施予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携する演習においては連携先企業等の担当者を定め、実習の計画時、実施中、評価のそれぞれのフェーズにおいて科目担当の本校所属教員への助言等の連携を密に行う。評価においては連携の結果を生徒にフィードバックする。また実習を実践的なものにするために必要に応じて適宜実習の場にも企業等の担当者が参加する。なお実習の企業と連携した計画は職員会議にて報告し承認を受ける。実施時の連携状況・連携結果についても適宜職員会議にて報告し指示を受ける。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
Oracle 演習 I	オラクル・アカデミック・イニシャティブ提携のもと、データベースの操作に使用する SQL 言語の使用方法を学びます	日本オラクル株式会社
Oracle 演習 II	オラクル・アカデミック・イニシャティブ提携のもと、リレーショナルデータベースの概念、データベース管理 (DBA) について学びます	日本オラクル株式会社
やってみなはれ演習 II	経済産業省が提唱する社会人基礎力を学校行事 (特に学園祭) の運営により養う。自らの企画を動画とプレゼンし連携企業に評価を受ける。	株式会社ルート 14 株式会社ブリング 雷鳥 株式会社進学教育研究社
やってみなはれ演習 応用 II	経済産業省が提唱する社会人基礎力を学校行事 (特に学園祭) の運営により養う。自らの企画を動画とプレゼンし連携企業に評価を受ける。	株式会社ルート 14 株式会社ブリング 雷鳥 株式会社進学教育研究社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員研修規程に従い教員は年度研修計画通り知識技術教育・授業及び生徒に対する指導力の研修を受ける。研修計画は教務主任と教務部長が教育課程編成委員会等から得た業界動向と、各教員の能力、担当業務、昇格等を基に計画する。知識技術教育は情報システム構築に関し、その分野に知見のある企業等と連携する。指導力の研修も十分な知見をもつ企業等と連携する。研修の実施は企業等の主催又は講師派遣を受ける。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月1日現在

名 前	所 属
武次靖雄	公益社団法人千葉県情報サービス産業協会、副会長
水上明美	株式会社 ベイキューブシー 代表取締役
西村由美	船橋商工会議所、専務理事
増渕賢一郎	アドビシステムズ株式会社、部長
岡川博一	株式会社ブリング、取締役
藤井洋一	日本ナレッジ株式会社 代表取締役
鶴巻祐士	船橋グランドホテル株式会社、支配人
山崎健太郎	株式会社 my ふなばし、代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法) ホームページ

URL: <http://www.chiba-fjb.ac.jp/www/unei.html>

5. 情報提供

(情報提供の方法) ホームページ

URL: <http://www.chiba-fjb.ac.jp>

授業科目等の概要

(工業専門課程情報処理科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ハードウェア	コンピュータを構成する様々な装置について、その役割りと特徴を学びます	1前	19		○	△	
○			ソフトウェア	コンピュータ内の情報表現方法・動作手順、2進数、OSの機能、ソフトウェアの種類について学びます	1前	19		○	△	
○			データベース	データ管理方法、データベースソフトの機能、データベースの構築方法や操作方法について学びます	1前	38		○	△	
○			システム設計Ⅰ	システム開発の流れと手法について学びます	1前	38		○	△	
○			システム設計Ⅱ	IT業界の位置付け、システム開発の仕事に大切な視点・意識・姿勢は何かを学びます	1後	57		○	△	
○			ネットワークとセキュリティ	複数のコンピュータを接続する仕組みやデータ伝送の手順、情報セキュリティについて学びます	1前	38		○	△	
○			アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	プログラムの処理手順、プログラムが扱うデータ形式について学びます	1前	76		△	○	
○			アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	プログラムの処理手順、プログラムが扱うデータ形式について学びます	1後	38		△	○	
○			アセンブラ	基本情報技術者試験の選択言語として、プログラムの書き方を学びます	1前	57		△	○	
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程情報処理科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			Java 言語演習 I	変数・式・演算子・分岐・繰り返し等、プログラミングの基礎を学びます	1 前	38			○	△
○			Java 言語演習 II	クラス・メソッド・コンストラクタ・オーバーロード・カプセル化・継承・抽象クラスについて学びます	1 後	76			○	△
○			Java 言語演習応用	Web アプリケーションの基礎や仕組み、JSP、サーブレットについて学びます	2 後	76			○	△
○			Office 演習	MOS Excel の取得対策、Excel・Wordの基本的な利活用技術を学びます	1 前	76			○	△
○			Oracle データベース設計	データベースの正規化の考え方、業務に適したデータベース設計の手法を学ぶ	1 後	38			○	
○			Oracle 演習 I	オラクル・アカデミック・イニシャティブ提携のもと、データベースの操作に使用するSQL言語の使用方法を学びます	2 前	38			○	△
○			Oracle 演習 II	オラクル・アカデミック・イニシャティブ提携のもと、リレーショナルデータベースの概念、データベース管理(DBA)について学びます	2 後	38			○	△
○			Web 技術演習	Web ページ作成の基礎である、HTML や CSS について学びます	1 後	76			○	△
○			VB.NET 演習	GUI プログラミングの基礎、データベースとの連携手法を学びます	2 前	152			○	△
合計				科目	単位時間 (単位)			

授業科目等の概要

(工業専門課程情報処理科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			UML 基礎	オブジェクト指向開発における設計書の書き方を学びます	2前	38		○		△
○			Linux サーバ構築 I	Linux (CentOS) のインストール、基本操作、アクセス権設定、WEB・FTP・DNS・メールサーバについて学びます	2前	38			○	△
○			Linux サーバ構築 II	指示内容に従ったサーバの設定を行います	2後	38			○	△
○			Office 演習 応用 I	Excel、Word、PowerPoint の基本を習得し、見栄えのよい書類の作成方法を学びます	2前	38			○	△
○			Office 演習 応用 II	Access の基本機能、Excel のマクロ機能 (VBA) について学びます	2後	38			○	△
○			卒業研究	グループでシステム開発に取り組み、システムエンジニアやプログラマーの仕事を経験します	2後	152			○	△
○			プレゼンテーション	目的に応じた資料作成、人に納得・理解してもらうためのストーリー作り、話し方のポイント、人前での立ち振る舞いを学びます	2後	76			○	△
○			COBOL 演習	COBOL 言語のプログラムの基本、データの構造と扱い、表の利用、ファイル操作について学びます	2後	38			○	△
○			検定対策 I	基本情報技術者試験 (午前)、情報検定活用試験、MOS Excel などの対策を行います	1前	38			○	
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程情報処理科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			検定対策Ⅱ	基本情報技術者試験(午後)、情報検定システム試験、SEA/Jなどの対策を行います	1後	38		○		
○			国家試験対策	基本情報技術者試験、ITパスポート試験の対策を通じ、IT関連の基礎を学びます	1後	38		○		
○			ストラテジとマネジメント	経営戦略、関連法規、財務会計、システム開発行程の見積り、日程・進捗管理、リスク・サービス管理について学びます	1前	19		○	△	
○			情報特論	社会に出て直面する種々の問題について、その本質と解決について考えます	2前	38		○		
○			就職講座B	就職試験に対応できる基礎的な学力の向上のための演習を行います	1後	38		△	○	
○			ビジネス実務	ビジネス能力検定3級の試験対策を通じ、新入社員として必要不可欠な基礎を学びます	1後	38		○	△	
○			自己啓発Ⅰ	多くの人とかかわりながら自分で自分を育てる大切さを学びます	1前	38		○	△	
○			自己啓発Ⅱ	「プロとは何か」「人として」をテーマに、マイオピニオンを確立します	1後	38		○	△	
○			応用ネットワーク	1年次に学んだ知識をベースにネットワーク技術に対する理解を深めます	2後	38		○		
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程情報処理科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ビジネス文書	実務に役立つ文書作成に必要な知識と技能について学びます	2後	38		○		
○			就職講座A	履歴書の書き方、身だしなみ、会社訪問のマナーなど、社会人に必要な姿勢を学びます	1後	38		○	△	
○			就職講座A 応用	面接練習、筆記試験対策(一般常識・SPI・作文)や、社会人と学生の違い、就職前に行っておくべきことを学びます	2前	38		○	△	
○			技術英語Ⅰ	読解に必要な基礎文法と簡単な英語文書のリーディングを行う	2後	38		○		
○			技術英語Ⅱ	読解に必要な基礎文法と簡単な英語文書のリーディングを行う	2後	38		○		
○			やってみなはれ演習Ⅰ	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事(特に学園祭)の運営により養います	1前	38		△	○	△
○			やってみなはれ演習Ⅱ	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事(特に学園祭)の運営により養います	1後	38		△	○	△
○			やってみなはれ演習応用Ⅰ	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事(特に学園祭)の運営により養います	2前	38		△	○	△
○			やってみなはれ演習応用Ⅱ	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事(特に学園祭)の運営により養います	2前	38		△	○	△
合計			45科目		2128単位時間(単位)		